



Small Business Relationship

私たちは、小企業を活性化するエンジンとなります。

株式会社 **SBR**

平成23年3月期 第1四半期
決算補足説明資料

2010年8月6日



1.決算ハイライト

損益計算書	・・・	4
サービス別売上高構成	・・・	5
営業費用(売上原価+販管費)	・・・	6
損益計算書(四半期推移)	・・・	7
サービス別売上高構成(四半期推移)	・・・	8
営業生産性推移	・・・	9
営業費用(売上原価+販管費)四半期推移	・・・	10
従業員数推移	・・・	11
貸借対照表(資産の部)	・・・	12
貸借対照表(負債・純資産の部)	・・・	13
キャッシュ・フロー	・・・	14

2.補足資料

業績及び経営指標の推移	・・・	16
平成23年3月期業績予想(通期)	・・・	17
平成23年3月期業績予想(半期別)	・・・	18
サービス別売上高構成予想(通期)	・・・	19
経営方針:事業テーマ	・・・	20
経営方針:経営テーマ	・・・	21
グループ関連図(事業面)	・・・	22
グループ体制変遷	・・・	23
株主構成	・・・	24



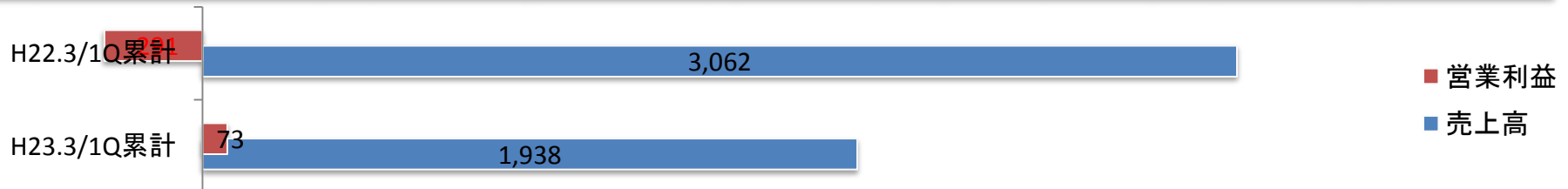
Small Business Relationship

私たちは、小企業を活性化するエンジンとなります。

平成23年3月期 第1四半期

決算ハイライト

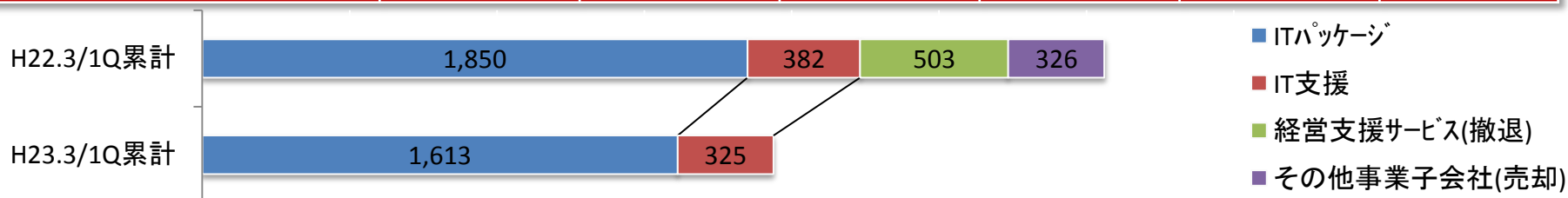
【単位:百万円】	H22.3 1Q累計	売上比	H23.3 1Q累計	売上比	対前期 増減率	対前期 差額
売上高	3,062	100.0%	1,938	100.0%	△36.7%	△1,123
売上原価	1,086	35.5%	395	20.4%	△63.6%	△690
売上総利益	1,976	64.5%	1,542	79.6%	△21.9%	△433
販管費	2,268	74.1%	1,469	75.8%	△35.2%	△798
営業利益(△損失)	△291	△9.5%	73	3.8%	—	+364
経常利益(△損失)	△265	△8.7%	70	3.6%	—	+335
当期純利益(△純損失)	△658	△21.5%	126	6.5%	—	+785



損益計算書 コメント

- » 前期にITパッケージと関連性の低い経営支援サービスの撤退、グループ子会社の再編を実施しその分の売上高が減少、またITパッケージにおいて景況感悪化の影響により需要喚起に苦戦している状況であることから、売上高は前期比36.7%減少
- » 利益率の高いITパッケージの売上高構成比が増加したことにより、売上総利益率が前期比15.1ポイント増加し、また前期に販管費の大幅な圧縮を実施し、今期も継続して販管費の低減に努めたことにより、販管費が前期比△35.2%減少した結果、営業利益は73百万円(前年同期は△291百万円)と黒字転換

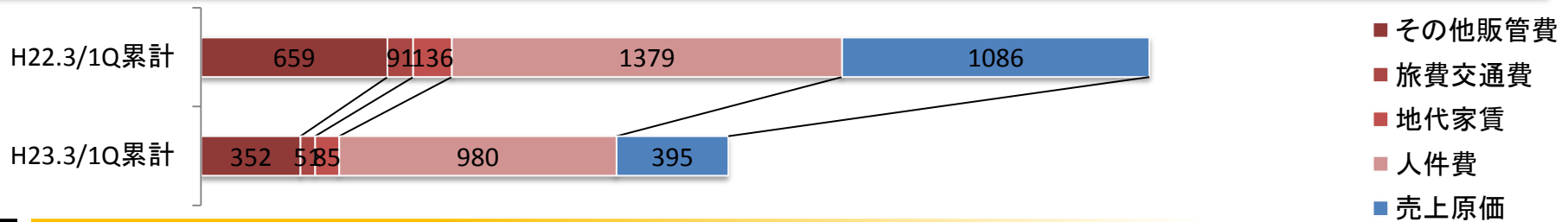
【単位:百万円】	H22.3 1Q累計	構成比	H23.3 1Q累計	構成比	対前期 増減率	対前期 差額
ITパッケージ	1,850	60.4%	1,613	83.2%	△12.8%	△236
IT支援	382	12.5%	325	16.8%	△15.0%	△57
継続サービス計	2,232	72.9%	1,938	100.0%	△13.2%	△294
経営支援サービス(撤退)	503	16.4%	—	—%	—%	△503
その他事業子会社(売却)	326	10.7%	—	—%	—%	△326
非継続サービス計	829	27.1%	—	—%	—%	△829
売上高	3,062	100.0%	1,938	100.0%	△36.7%	△1,123



サービス別売上高構成 コメント

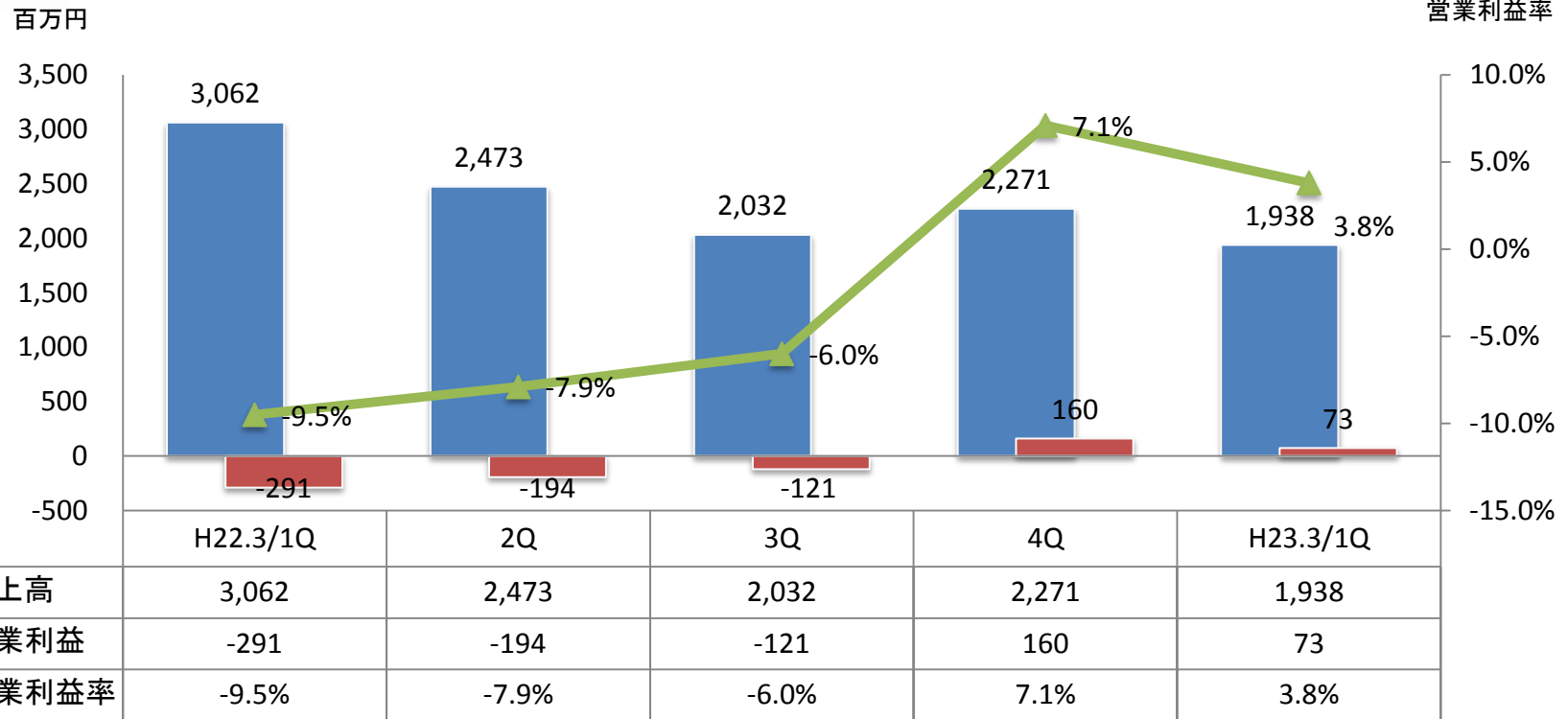
- ITパッケージは、小企業の景況感悪化が依然として影響しており、需要喚起に苦戦していることから、前期比12.8%減少
- IT支援は、収益性の観点からより利益率の高い商材に絞込みを戦略的に実施したことにより、前期比15.0%減少

【単位:百万円】	H22.3 1Q累計	売上比	H23.3 1Q累計	売上比	対前期 増減率	対前期 差額
売上原価	1,086	35.5%	395	20.4%	△63.6%	△690
人件費	1,379	45.1%	980	50.6%	△29.0%	△399
地代家賃	136	4.5%	85	4.4%	△37.2%	△50
旅費交通費	91	3.0%	51	2.6%	△44.2%	△40
その他販管費	659	21.5%	352	18.2%	△46.5%	△307
販管費	2,268	74.1%	1,469	75.8%	△35.2%	△798
営業費用	3,354	109.5%	1,865	96.2%	△44.4%	△1,488



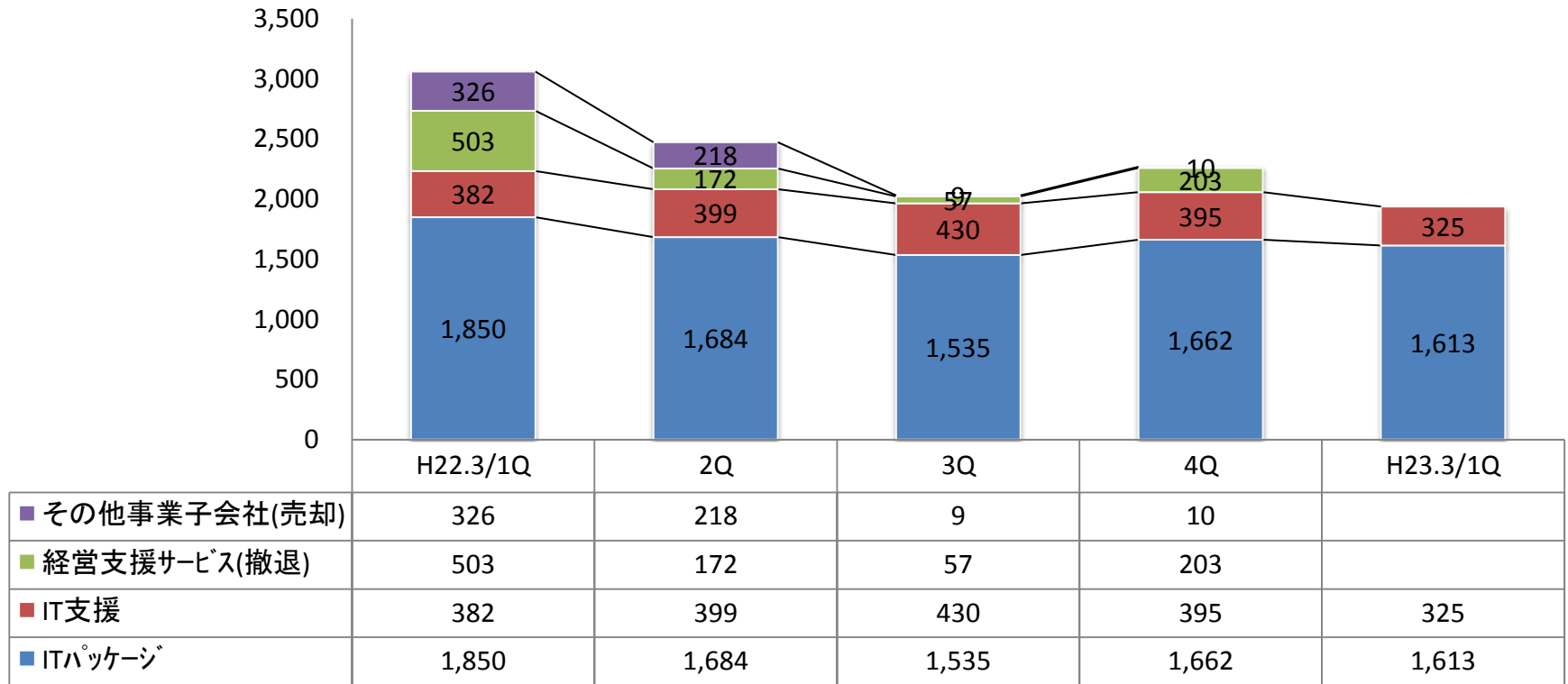
営業費用(売上原価+販管費)コメント

- » 前期にITパッケージに経営リソースを集中させたことにより、利益率の高いITパッケージの売上高構成比率が増加し、またIT支援において利益率の高い商材に絞込みを行った結果、売上原価率は前期比15.1ポイント減少
- » 前期に年間を通じて販売管理費の大幅な圧縮を実施したことに加え、当期も引続き組織規模の適正化及びローコスト・オペレーションの徹底を推進した結果、販管費は前期比35.2%減少



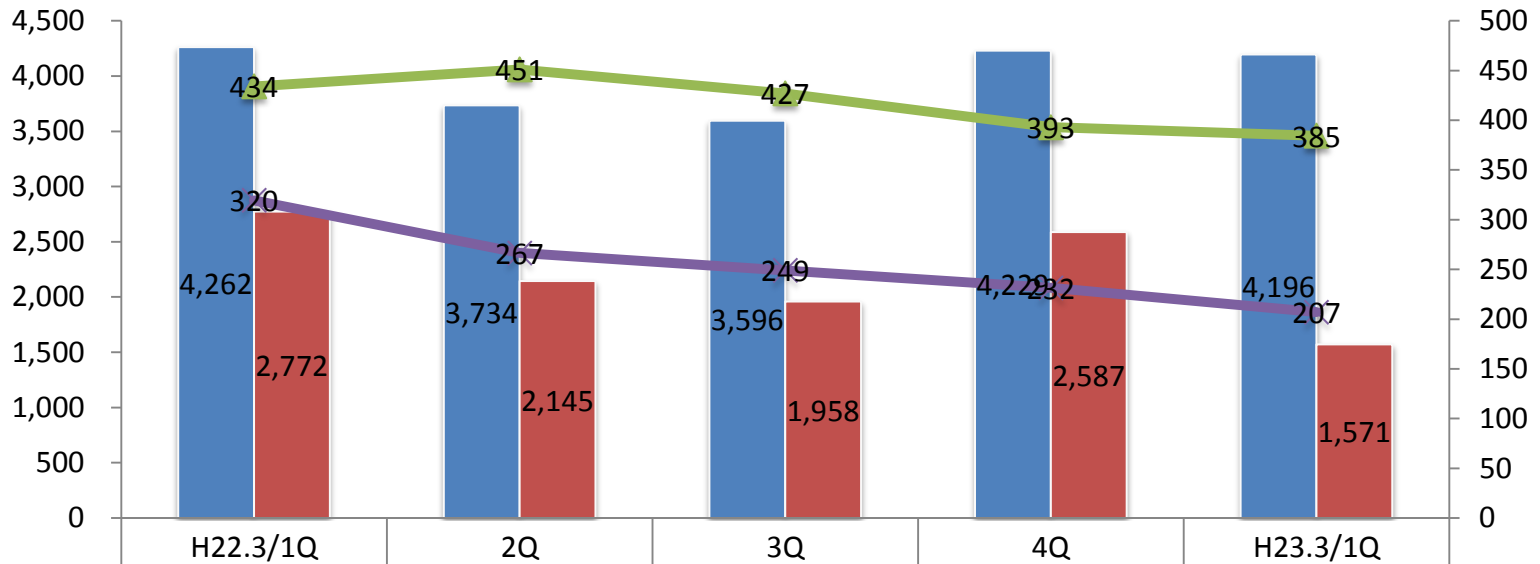
損益計算書(四半期推移)コメント

- » 売上高は、前期4Qと比較して減少したが、前期4Qは撤退中の開業支援サービスにて一時的な収益が発生しており、その影響額を除くと前期4Qと比較して売上高は微減
- » 利益面は、利益率の高いITパッケージの売上高構成比が高まり、売上高総利益率が前期4Q比3.0ポイント増加したことに加え、組織規模の適正化及びローコスト・オペレーションの徹底等により、販管費が前期4Q比108百万円減少した結果、営業利益は黒字となったが、前期4Qは開業支援サービスの一時的な収益が発生したため、前期4Q比で営業利益は減少



サービス別売上高構成(四半期推移)コメント

- » ITパッケージは、小企業の景況感悪化が依然として影響しており、前期4Q比2.9%減少
- » IT支援は、より利益率の高い商材・サービスへの絞込みを実施したことにより、前期4Q比17.8%減少

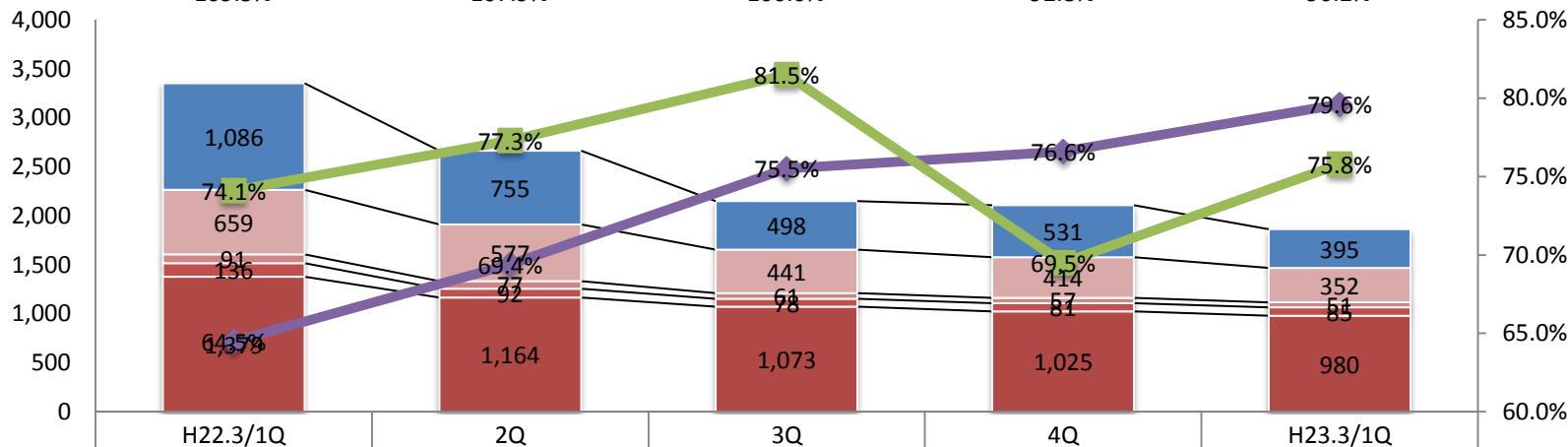


ITパッケージ	4,262	3,734	3,596	4,229	4,196
I T 支援	2,772	2,145	1,958	2,587	1,571
ITパッケージ要員数	434	451	427	393	385
I T 支援要員数	320	267	249	232	207

営業生産性推移コメント

- » ITパッケージの営業生産性は、前期4Qより4百万円台にて推移
- » IT支援の営業生産性は、より利益率の高い商材・サービスへの絞込みを実施したことに伴い売上高が減少したことにより、営業生産性は下降トレンドに

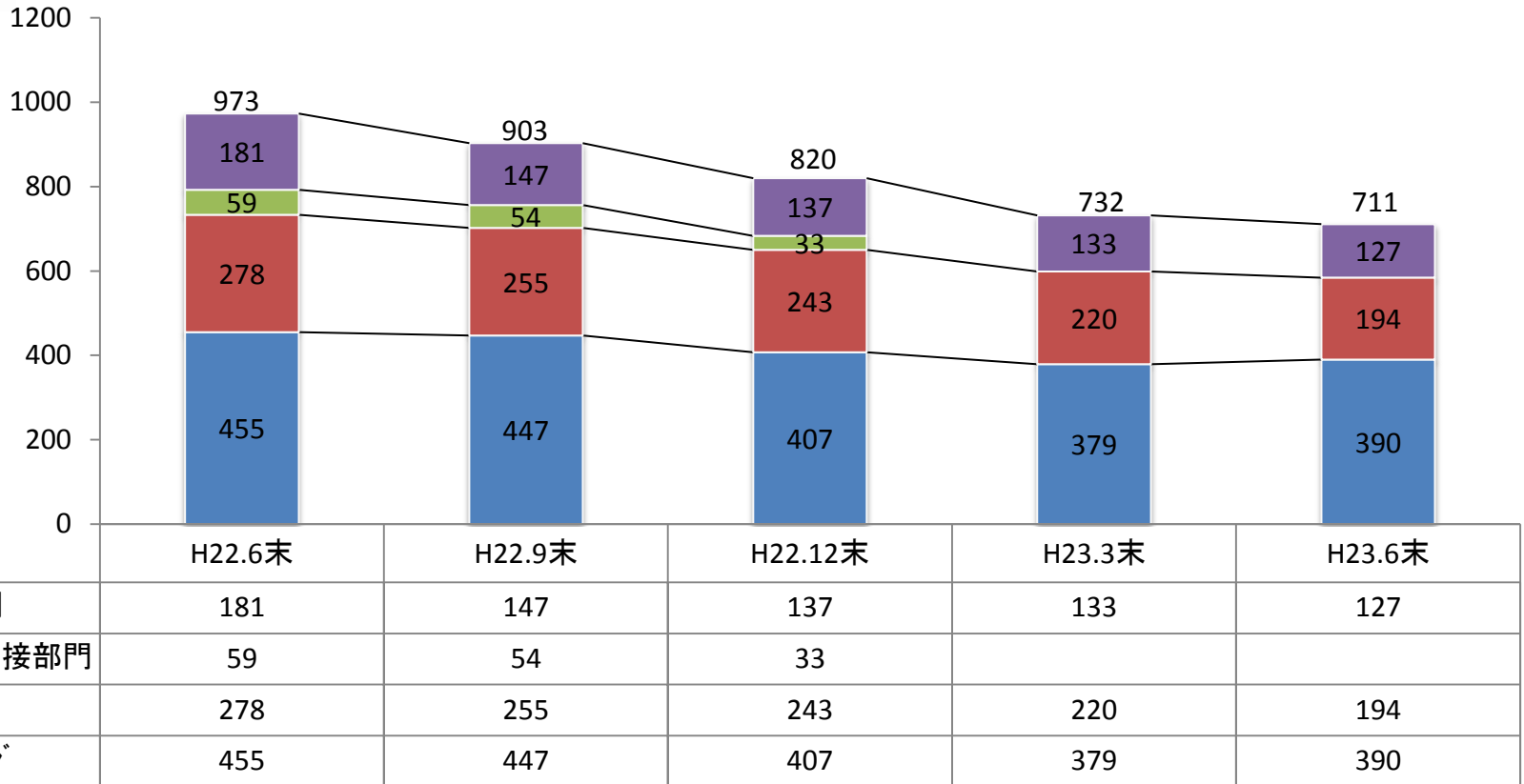
営業費用	3,354	2,668	2,154	2,106	1,865
売上比	109.5%	107.9%	106.0%	92.8%	96.2%



	H22.3/1Q	2Q	3Q	4Q	H23.3/1Q
売上原価	1,086	755	498	531	395
その他販管費	659	577	441	414	352
旅費交通費	91	77	61	57	51
地代家賃	136	92	78	81	85
人件費	1,379	1,164	1,073	1,025	980
粗利率	64.5%	69.4%	75.5%	76.6%	79.6%
販管費率	74.1%	77.3%	81.5%	69.5%	75.8%

営業費用(売上原価+販管費)四半期推移 コメント

- » ITパッケージの売上高構成比の向上に伴い、売上総利益率は前期4Q比3.0ポイント改善
- » 組織規模の適正化の推進、全社的なローコスト・オペレーションの徹底により、販管費は前期4Q比108百万円減少



従業員数推移 コメント

» 組織規模の適正化の推進により、従業員数は減少傾向にて推移

【単位:百万円】	H22.3末	構成比	H22.6末	構成比	対前期末 増減率	対前期末 差額
流動資産 合計	3,001	64.2%	3,623	72.9%	+20.7%	+621
現金及び預金	2,121	45.4%	2,959	59.5%	+39.5%	+837
その他	880	18.8%	663	13.4%	△24.6%	△216
固定資産 合計	1,672	35.8%	1,349	27.1%	△19.3%	△323
有形固定資産	198	4.2%	184	3.7%	△7.1%	△13
無形固定資産	542	11.6%	505	10.2%	△6.8%	△37
投資その他の資産	931	19.9%	658	13.3%	△29.2%	△272
資産 合計	4,674	100.0%	4,972	100.0%	+6.4%	+297

貸借対照表(資産の部) コメント

- » 流動資産は、第三者割当増資の払込を受けたこと等により現金及び預金が増加し、前期末比621百万円増加
- » 固定資産は、不動産担保付債権の回収等により、破産更正債権等が減少したことに伴い、投資その他資産が減少し、前期末比323百万円減少

【単位:百万円】	H22.3末	構成比	H22.6末	構成比	対前期末 増減率	対前期末 差額
流動負債 合計	1,999	42.8%	1,362	27.4%	△31.9%	△637
短期借入金	500	10.7%	—	—	△100.0%	△500
未払金	697	14.9%	531	10.7%	△23.8%	△165
その他	801	17.1%	830	16.7%	+3.5%	+28
固定負債 合計	18	0.4%	10	0.2%	△40.5%	△7
負債 合計	2,017	43.2%	1,372	27.6%	△32.0%	△644
資本金	7,744	165.7%	8,151	163.9%	+5.3%	+407
資本準備金	2,141	45.8%	2,548	51.3%	+19.0%	+407
純資産 合計	2,656	56.8%	3,599	72.4%	+35.5%	+942
負債・純資産 合計	4,674	100.0%	4,972	100.0%	+6.4%	+297

貸借対照表(負債・純資産の部) コメント

- » 流動負債は、借入金の返済による短期借入金の減少、仕入債務の減少等による未払金の減少等により、前期末比637百万円減少
- » 純資産は、第三者割当増資の払込を受け、資本金および資本準備金が増加したこと等により、前期末比942百万円増加

【単位：百万円】	H22.3 1Q累計	H23.3 1Q累計	(参考) H22.3 4Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	△147	502	229
投資活動によるキャッシュ・フロー	527	25	1,653
財務活動によるキャッシュ・フロー	△817	310	△3,179
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	△436	837	△1,296
現金及び現金同等物の期末残高	2,975	2,950	2,112

キャッシュ・フロー コメント

- » 営業CFの増加の主な内訳は、破産更生債権等の減少額408百万円、税金等調整前四半期純利益131百万円であり、減少の主な内訳は、貸倒引当金の減少額220百万円、未払金の減少額166百万円
- » 投資CFの増加の主な内訳は、投資有価証券の売却による収入39百万円、敷金及び保証金の返還による収入19百万円であり、減少の主な内訳は、無形固定資産の取得による支出27百万円
- » 財務CFの増加の主な内訳は、株式の発行による収入815百万円であり、減少の主な内訳は、短期借入金の返済による支出500百万円



補足資料

平成22年5月14日に開示いたしました平成23年3月期の連結業績予想につきましては、本資料作成時点におきまして変更はございません。



業績及び経営指標の推移



Small Business Relationship

私たちは、小企業を活性化するエンジンとなります。

【単位:百万円】	H18.3 (実績)	H19.3 (実績)	H20.3 (実績)	H21.3 (実績)	H22.3 (実績)	H23.3 (予想)
売上高	20,329	22,974	17,957	18,420	9,840	7,646
営業利益	4,267	941	△740	△897	△447	50
当期純利益	2,398	△815	△6,437	△9,547	△958	0
営業活動におけるキャッシュフロー	2,734	△3,208	△1,583	△13	229	N/D
現金及び現金同等物の期末残高	5,360	5,756	4,521	3,411	2,112	N/D
純資産	11,242	20,112	13,346	3,594	2,656	3,472
流動比率	101.9%	325.8%	207.8%	75.7%	150.4%	200.2%
有利子負債	5,249	287	1,723	3,720	500	0
グループ会社合計	10社	15社	16社	11社	2社	2社
従業員数	1,285人	1,636人	1,364人	1,074人	732人	675人

【単位:百万円】	H22.3通期 (実績)	売上比	H23.3通期 (予想)	売上比	対前期 増減率
売上高	9,840	100.0%	7,646	100.0%	△22.3%
売上原価	2,872	29.2%	1,610	21.1%	△43.9%
売上総利益	6,968	70.8%	6,035	78.9%	△13.4%
販管費	7,415	75.3%	5,984	78.3%	△19.3%
営業利益(△損失)	△447	△4.5%	50	0.7%	—
経常利益(△損失)	△414	△4.2%	65	0.9%	—
当期純利益(△純損失)	△958	△9.7%	0	0.0%	—
(参考)継続サービス売上高	8,380	85.2%	7,646	100.0%	△8.8%

平成23年3月期 業績予想(通期) コメント

- » 売上高は、前期撤退した経営支援サービス、株式売却したグループ子会社分の減少に加え、経済状況を鑑み、既存サービスの受注を保守的に見積もった結果、売上高は対前期比22.3%減少の見通し
- » 前期「本業回帰」の方針を打出し、利益率の高いITパッケージの売上高構成比が向上したことで売上総利益率が向上することに加え、前期取組んだ販管費抑制の効果が年間を通じて寄与してくることから、販管費は対前期比19.3%減少の見通しであり、営業利益が黒字転換の見通し。
- » また、当期純利益も0百万円と累積赤字に歯止めがかかる見通し。



平成23年3月期 業績予想(半期別)

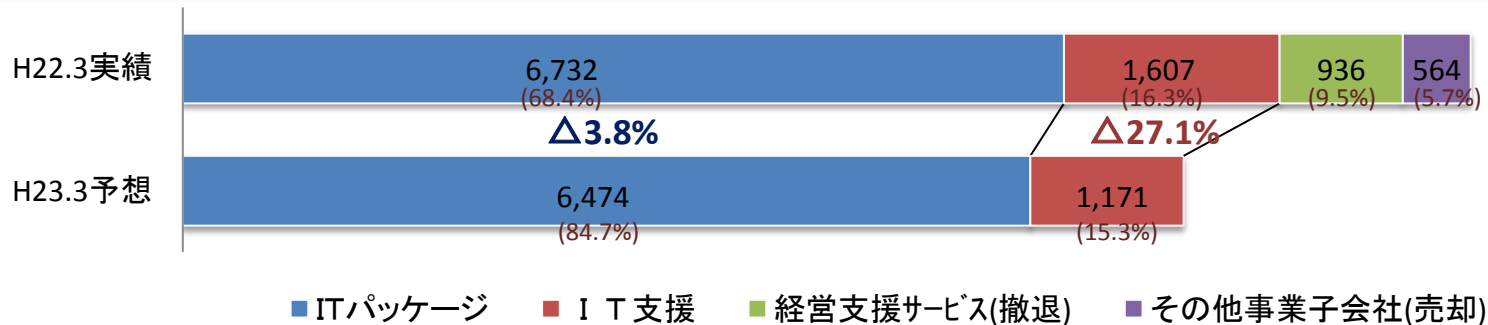


Small Business Relationship

私たちは、小企業を活性化するエンジンとなります。

【単位:百万円】	H23.3上期 (予想)	売上比	対前期 増減率	H23.3下期 (予想)	売上比	対前期 増減率
売上高	3,827	100.0%	△30.9%	3,818	100.0%	△11.3%
売上原価	812	21.2%	△55.9%	798	20.9%	△22.4%
売上総利益	3,015	78.8%	△18.4%	3,019	79.1%	△7.8%
販管費	3,065	80.1%	△26.7%	2,919	76.5%	△9.6%
営業利益(△損失)	△49	△1.3%	—	100	2.6%	—
経常利益(△損失)	△48	△1.3%	—	114	3.0%	—
当期純利益(△純損失)	△97	△2.6%	—	98	2.6%	—

【単位:百万円】	H22.3 (実績)	構成比	H23.3 (予想)	構成比	対前期 増減率
ITパッケージ	6,732	68.4%	6,474	84.7%	△3.8%
IT支援	1,607	16.3%	1,171	15.3%	△27.1%
継続サービス計	8,339	84.7%	7,646	100.0%	△8.3%
経営支援サービス(撤退)	936	9.5%	—	—%	△100.0%
その他事業子会社(売却)	564	5.7%	—	—%	△100.0%
非継続サービス計	1,500	15.3%	7,646	100.0%	△100.0%
売上高	9,840	100.0%	7,646	100.0%	△22.3%



※1:ITパッケージは、ITパッケージ及びカスタマーサポート(前期は経営支援サービス)を示します。

※2:IT支援は、ヤフー商材、WEB広告、WEB制作及びその他IT支援(全て前期は経営支援サービス)を示します。

※3:経営支援サービス(撤退)は、開業支援サービス、金融支援サービス、人材支援サービス及び通信機器等の撤退サービスを示します。

※4:その他事業子会社は、関連会社のうち株式売却等により連結子会社から除外された会社分の売上を示します。

事業テーマ

- 利益体質への転換に向けた事業構造の改革

BPRの推進による生産性の追及

- ITパッケージ営業における営業スキルの底上げ
- アポイント活動の業務プロセスの再構築
- 契約プロセスの一元管理体制の確立

ストック型ビジネスへの転換に向けた次世代コア商材の開発

ローコスト・オペレーションの継続実施

経営テーマ

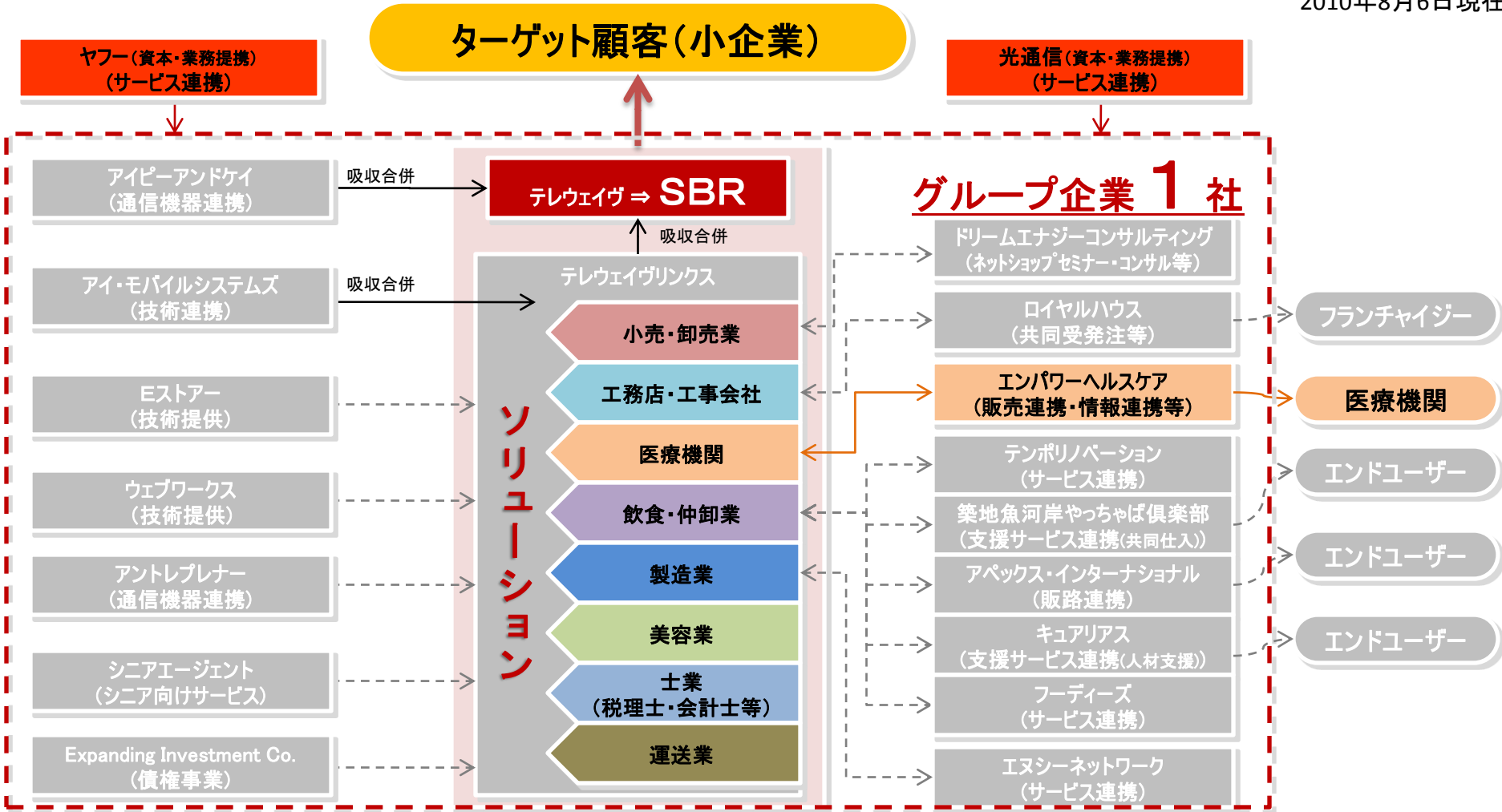
- 内部管理体制の更なる強化

コーポレート・ガバナンスの強化

再発防止策の継続実施

開示書類に関する法令遵守体制の整備

2010年8月6日現在





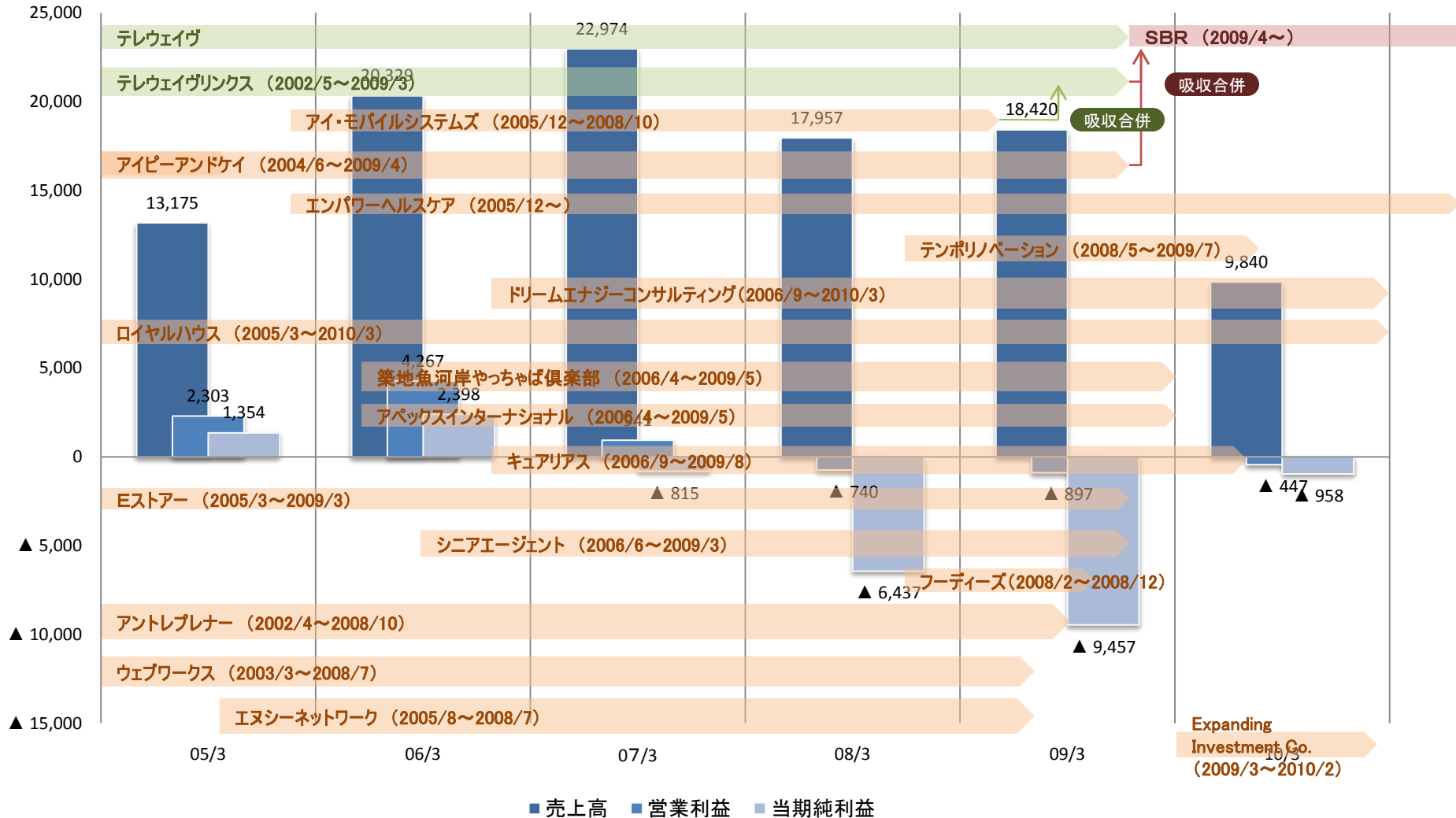
グループ体制変遷



Small Business Relationship

私たちは、小企業を活性化するエンジンとなります。

2010年8月6日現在





株主構成



Small Business Relationship

私たちは、小企業を活性化するエンジンとなります。

株主セグメント	平成21年3月末現在				平成21年9月末現在				平成22年3月末現在			
	株主数 (人)	構成比 (%)	株式数 (株)	構成比 (%)	株主数 (人)	構成比 (%)	株式数 (株)	構成比 (%)	株主数 (人)	構成比 (%)	株式数 (株)	構成比 (%)
政府及び地方公共団体	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
銀行・信託銀行	5	0.04	46,296	8.97	1	0.01	70	0.01	1	0.01	74	0.01
生保・損保会社	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
その他金融機関	2	0.02	4,821	0.93	2	0.02	21,167	4.10	2	0.02	18,479	3.58
証券会社	18	0.14	6,960	1.35	15	0.13	3,171	0.61	12	0.11	3,754	0.73
その他法人	111	0.88	143,581	27.82	107	0.94	143,769	27.85	96	0.88	116,142	22.50
外国法人等	32	0.25	6,518	1.26	30	0.26	3,897	0.76	29	0.27	1,903	0.37
個人・その他	12,455	98.66	307,230	59.52	11,197	98.63	343,332	66.52	10,755	98.71	375,054	72.66
自己株式	1	0.01	748	0.14	1	0.01	748	0.14	1	0.01	748	0.14
合計	12,624	100.00	516,154	100.00	11,353	100.00	516,164	100.00	10,896	100.00	516,154	100.00

大株主	10	0.08	285,960	55.40	10	0.09	278,335	53.92	10	0.09	252,724	48.96
浮動株式	12,617	99.94	315,554	61.14	11,348	99.96	328,419	63.63	10,890	99.94	354,042	68.59
特定株	14	0.11	290,388	56.26	13	0.11	279,163	54.09	14	0.13	253,652	49.14

※浮動株式 役員持株、主要株主及び自己株式を除いた株主数及び株式数
 ※特定株 大株主、役員持株及び自己株式を合計した株主数及び株式数

当社は平成22年6月25日付にて、株式会社光通信及び光通信グループ会社3社に対して第三者割当増資による新株式を発行したことに伴い、発行済株式数は777,220株となっております。



お問い合わせ

株式会社SBR(エスピーアール) 総合企画部(IR担当)

Tel 03-5733-4492

Mail ir@sbr-inc.co.jp

IRインフォメーション

SBR IRページ <http://www.sbr-inc.co.jp/investor/>

本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手した情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別な事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果が生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられる情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製、または転送等を行わないようお願いいたします。